

2液形無溶剤エポキシ樹脂塗床材

# SPLレジモル#100

樹脂モルタル用エポキシ樹脂系バインダー

 **神東塗料**

## モルタル工法でのコテ作業性に優れたSPLレジモル#100

「SPLレジモル#100」はモルタル工法用に開発した無溶剤エポキシ樹脂クリヤーです。

硬化後の樹脂モルタルの強度および耐薬品性が優れるため、過酷な使用条件の工場床等に最適です。

### ■ 特 長

#### 1. 塗膜性能

- ◎コンクリートなどの下地への付着が優れ、耐衝撃性、耐摩耗性、耐薬品性、耐油性が優れています。
- ◎硬化した樹脂モルタルの圧縮強度、曲げ強度等の物性が優れています。

#### 2. 塗装作業性

- ◎無溶剤タイプのエポキシ樹脂クリヤーで、モルタル工法でのコテ作業性が非常に優れています。

#### 3. 安全性

- ◎鉛・クロムフリーですので、安心してお使いいただけます。 F☆☆☆☆

### ■ 用 途

- 機械工場、薬品工場、化学工場、食品工場などの床
- 下地補修、段差補修用樹脂モルタル

### ■ 商品構成と塗装面積

商品名	荷姿	基剤	硬化剤	混合比	塗装面積
SPLレジモル#100	24kgセット	18kg	6kg 夏期用硬化剤 冬期用硬化剤	基剤：硬化剤 3：1	厚みにより使用量が 異なります。
SPフロー骨材 NO.5		30kg		—	同上
SPフロー骨材 NO.6		30kg		—	同上
商品名	荷姿	A剤	B剤	混合比	塗装面積
速乾ユカトップEプライマー	15kgセット	12kg	3kg	A剤：B剤 4：1	100㎡/缶(1回塗り)
特殊増粘剤		10kg			—

## ■ 標準塗装仕様

### 1. モルタル工法、オコシ状仕上げ(5m/m厚)

工程	塗料名 (希釈剤)	塗厚 (m/m)	希釈率 (%)	使用量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗回数	塗装間隔 (20℃)	塗装方法
素地調整	1)モルタル、コンクリートの含水率10%以下、pH10以下を確認する。(デジタル直読式水分計の場合は、含水率5%以下を確認する。) 2)全面ポリッシャー、サンダー等で処理し、表面に付着しているエフロレッセンス、脆弱素地(レイタンス)、突起物、浮き部分はポリッシャー、サンダー等で全面処理し、除去する。 3)付着している汚れ、グリス、油脂等はユカトップ油面クリーナーを用いて取り除き、水洗いし、下地を十分乾燥させる。 4)ごみ、ほこり等は清掃し取り除く。 5)下地の凸部は除去し、凹部ヘアークラック等はユカトップ速乾パテ等で補修する。						
下塗-1	速乾ユカトップEプライマー	—	無希釈	0.15	1	3時間以上7日以内	中毛ローラーで素地にすり込み十分に塗付する。
下塗-2	Sプレジモル#100 (ユカトップEシンナー)	(0.2)	5~10	0.3	1	直後~1時間以内	中毛ローラーで塗り拡げる。
中塗-1 (モルタル層) オコシ状仕上げ	Sプレジモル#100 24kg(1セト) SPフロアー骨材No.5 90kg(3袋) SPフロアー骨材No.6 60kg(2袋)	5.0	無希釈	9.1	1	8時間以上7日以内	1)モルタルミキサーへSプレジモル専用骨材を投入し混合する。 2)基剤と硬化剤を混合したSプレジモル#100を上記モルタルミキサー中へ投入し、骨材と均一に混合する。 3)金ゴテでおさえながら平滑に塗り付ける。

### 2. 平滑仕上げ

工程	塗料名 (希釈剤)	塗厚 (m/m)	希釈率 (%)	使用量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗回数	塗装間隔 (20℃)	塗装方法
素地調整	1)モルタル、コンクリートの含水率10%以下、pH10以下を確認する。(デジタル直読式水分計の場合は、含水率5%以下を確認する。) 2)全面ポリッシャー、サンダー等で処理し、表面に付着しているエフロレッセンス、脆弱素地(レイタンス)、突起物、浮き部分はポリッシャー、サンダー等で全面処理し、除去する。 3)付着している汚れ、グリス、油脂等はユカトップ油面クリーナーを用いて取り除き、水洗いし、下地を十分乾燥させる。 4)ごみ、ほこり等は清掃し取り除く。 5)下地の凸部は除去し、凹部ヘアークラック等はユカトップ速乾パテ等で補修する。						
下塗-1	速乾ユカトップEプライマー	—	無希釈	0.15	1	3時間以上7日以内	中毛ローラーで素地にすり込み十分に塗付する。
下塗-2	Sプレジモル#100 (ユカトップEシンナー)	(0.2)	5~10	0.3	1	直後~1時間以内	中毛ローラーで塗り拡げる。
中塗-1 (モルタル層) オコシ状仕上げ	Sプレジモル#100 24kg(1セト) SPフロアー骨材No.5 90kg(3袋) SPフロアー骨材No.6 60kg(2袋)	5.0	無希釈	9.1	1	8時間以上7日以内	1)モルタルミキサーへSプレジモル専用骨材を投入し混合する。 2)基剤と硬化剤を混合したSプレジモル#100を上記モルタルミキサー中へ投入し、骨材と均一に混合する。 3)金ゴテでおさえながら平滑に塗り付ける。
中塗-2 (目つぶし)	Sプレジモル#100 100部 特殊増粘剤 1~3部	—	無希釈	0.3 0.003~0.009	1	8時間以上7日以内	1)Sプレジモル#100へ特殊増粘剤を混合してパテ状にする。 2)ゴムべら、金ゴテ等で全面しごき塗りする。
上塗	ユカトップエポハード	1.0	無希釈	1.3	1	24時間以上 (歩行可能)	金ゴテにて平滑に塗り拡げる。

その他上塗りとして、ユカトップE#400等が塗装できます。

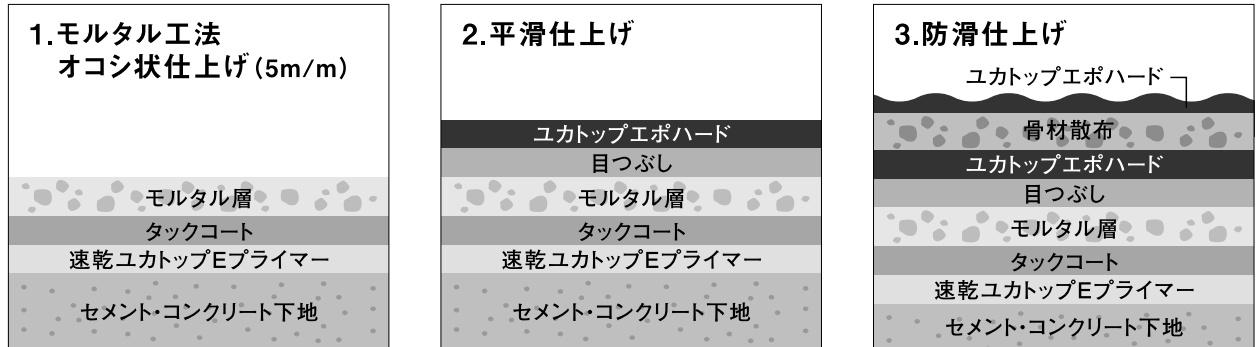
### 3. 防滑仕上げ

工程	塗料名 (希釈剤)	塗厚 (m/m)	希釈率 (%)	使用量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗回数	塗装間隔 (20℃)	塗装方法
素地調整	1)モルタル、コンクリートの含水率10%以下、pH10以下を確認する。(デジタル直読式水分計の場合は、含水率5%以下を確認する。) 2)全面ポリッシャー、サンダー等で処理し、表面に付着しているエフロレッセンス、脆弱素地(レイタンス)、突起物、浮き部分はポリッシャー、サンダー等で全面処理し、除去する。 3)付着している汚れ、グリス、油脂等はユカトップ油面クリーナーを用いて取り除き、水洗いし、下地を十分乾燥させる。 4)ごみ、ほこり等は清掃し取り除く。 5)下地の凸部は除去し、凹部ヘアークラック等はユカトップ速乾パテ等で補修する。						
下塗-1	速乾ユカトップEプライマー	—	無希釈	0.15	1	3時間以上7日以内	中毛ローラーで素地にすり込み十分に塗付する。
下塗-2	Sプレジモル#100 (ユカトップEシンナー)	(0.2)	5~10	0.3	1	直後~1時間以内	中毛ローラーで塗り拡げる。
中塗-1 (モルタル層) オコシ状仕上げ	Sプレジモル#100 24kg(1セト) SPフロアー骨材No.5 90kg(3袋) SPフロアー骨材No.6 60kg(2袋)	5.0	無希釈	9.1	1	8時間以上7日以内	1)モルタルミキサーへSプレジモル専用骨材を投入し混合する。 2)基剤と硬化剤を混合したSプレジモル#100を上記モルタルミキサー中へ投入し、骨材と均一に混合する。 3)金ゴテでおさえながら平滑に塗り付ける。
中塗-2 (目つぶし)	Sプレジモル#100 100部 特殊増粘剤 1~3部	—	無希釈	0.3 0.003~0.009	1	8時間以上7日以内	1)Sプレジモル#100へ特殊増粘剤を混合してパテ状にする。 2)ゴムべら、金ゴテ等で全面しごき塗りする。
下塗	ユカトップエポハード	0.6	無希釈	0.4	1	直後	ローラー
骨材散布	SPフロアー骨材No.5		—	0.2~0.3	—	16時間以上7日以内	モルタルガンまたはリシガン
上塗	ユカトップエポハード	0.4	無希釈	0.4	1	24時間以上 (歩行可能)	ローラー

その他上塗りとして、ユカトップE#400等が塗装できます。

※施工上の注意

- コンクリートの養生期間は1ヵ月以上、モルタル養生期間は夏期14日以上、含水率10%以下、pH10以下を確認してください。  
(デジタル水分計の場合は、含水率5%以下)
- エフロレンセス・レイタンス層は、ディスクサンダー・ポリッシャー等で研掃し、除去してください。
- クラック、巣穴等はエポキシ系パテなどで調整してください。
- 付着しているグリス、油脂等はユカトップ油面クリーナー等を用いて除去してください。
- 速乾ユカトップEプライマーはA剤:B剤=4:1です。小出しする場合は必ずはかり用い、正しい混合比で計量混合してください。
- SPレジモル#100の混合比は基材:硬化剤=3:1です。小出しする場合は必ずはかり用い、正しい混合比で計量混合してください。
- 油污れ面への施工については、弊社担当者までお問い合わせください。
- 軽量コンクリートへの施工は差し控えてください。
- 目地棒はその種類により付着性が悪く剥離することがあります。事前に調査をお願いします。
- 施工中、乾燥中は室内換気を十分に行ってください。



■ 性 状

項目	塗料	基剤	硬化剤		混合物	
			冬期用硬化剤 (20℃未満)	夏期用硬化剤 (20℃)	冬期用硬化剤を 使用した場合	夏期用硬化剤を 使用した場合
外観		無色透明	淡褐色透明液		淡褐色透明液	
密度(20℃)		1.11	1.09	0.96	1.10	1.07
粘度(dPa・s25℃)		900	300	250	500	500
混合比(重量)		75	25		-	
使用可能時間 (ポットライフ)	10℃	-	-	-	50分	-
	20℃				20分	1時間40分
	30℃				-	35分
歩行可能時間	10℃	-	-	-	6時間	16時間
	20℃				3時間	8時間
	30℃				2時間30分	5時間30分

## ■ 品 質

項目	SPLレジモル#100(モルタル工法)	セメントモルタル	備考
密度	1.8	2.0	—
圧縮強度	69N/mm <sup>2</sup>	12N/mm <sup>2</sup>	JIS R 5201
曲げ強度	20N/mm <sup>2</sup>	4N/mm <sup>2</sup>	JIS R 5201
衝撃強度	100cm	5cm	JIS K 5600
接着強度	3.0N/mm <sup>2</sup> (モルタル破壊)	—	建研式接着力試験機
耐摩耗性	9.8mg	1,000mg	JIS K 5600(テーパー式)
冷熱サイクル	水中→20℃→50℃ 合格	—	10サイクル

## ■ 取扱いに関する一般的注意事項

### 調 合

1. 塗料開缶は原則として使用する直前に行い、開缶したものはその日のうちに使用するよう心がけてください。
2. 塗料は使用する前に十分攪拌を行い均一な状態にして使用してください。
3. 他品種、他品名の塗料との混合は厳禁です。

### 塗 装

1. 気温5℃以下、湿度85%以上のときは塗装禁止です。低温時には乾燥遅延となり高湿度では付着不良や塗膜外観不良が生じやすくなります。
2. 被塗面に結露がある場合や塗装後短時間で降雨、結露が予測される場合の塗装は避けてください。
3. 被塗物の表面温度が50℃以上の場合、塗装を避けてください。
4. 被塗面は清浄な状態にしてから塗装してください。
5. 塗装中および塗料の取り扱いには必要な保護具(帽子、ヘルメット、保護メガネ、マスク、手袋など)を使用し、身体に付着しないように注意してください。
6. 吸入に関する危険物有害性の表示がある塗料を塗装する場合は、局所排気装置などを設置し、作業時には有機ガス用の防毒マスクやエアラインマスクなどを着用して作業を行ってください。
7. 塗装器具の洗浄には二液形ネオゴーゼーションナーまたはラッカーシンナーをご使用ください。

### 緊急時の対応

1. 目に入ったときには、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
2. 皮膚に付着したときには、多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、出来るだけ早く医師の診察を受けてください。
3. 蒸気、ガス等を吸入した場合には、清浄な空気の場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
4. 飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
5. 容器からこぼれた場合は布でふき取り、その布は水に浸した状態で容器に保管してください。
6. 火災時には炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いてください。

### 廃 棄

1. 使用済みの塗料缶や塗料が付着したウエスや残塗料を廃棄する場合は、関連法規に従って産業廃棄物として廃棄してください。

### 保 管

1. 残塗料は密封して冷暗所に保管してください。
2. 子供の手の届かない場所に保管してください。
3. 塗料の保管は関連法規を遵守してください。
4. 容器はつり上げないでください。

※安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)を参照してください。



本 社 〒661-8511兵庫県尼崎市南塚口町六丁目10番73号  
☎(06)6426-3355(代) FAX(06)6429-6188(代)

#### 製品に関するお問い合わせ

北海道 ☎(0123)32-0431 FAX(0123)34-6199 北 陸 ☎(076)262-1305 FAX(076)262-1315 四 国 ☎(087)841-1251 FAX(087)843-3108  
東 北 ☎(022)285-7915 FAX(022)285-7813 名古屋 ☎(052)612-0293 FAX(052)612-0318 九 州 ☎(092)472-2222 FAX(092)473-5777  
東 京 ☎(03)5690-0544 FAX(03)5690-0553 大 阪 ☎(06)6426-3763 FAX(06)6429-6268  
静 岡 ☎(054)245-0135 FAX(054)247-4091 中 国 ☎(082)264-6822 FAX(082)264-6821 <https://www.shintopaint.co.jp/>

本カタログの内容・仕様等について予告なく変更することがあります。ご了承ください。